

平成28年2月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成28年2月24日 (水)

開 会 午前 10時00分

閉 会 午前 11時00分

2. 会 場 茅野市役所 704会議室

3. 出席委員 教育委員長 吉田 一 教育委員 小林 俊恵

教育委員 小平 光子

教育長 牛山 英彦

生涯学習部長 木川 亮一

出席者 生涯学習部長 木川 亮一

学校教育課長 平出 信次

スポーツ健康課長 鋤柄 敏

幼児教育課長 牛山津人志

生涯学習課長 小島 吉彦

教育総務係長 渡辺 雄一

教育総務主事 丸茂 直樹

教育委員 小林 俊恵

こども部長 牛山 洋治

文化財課長 守矢 昌文

公民館長 矢島喜久雄

こども課長 両角 勝元

こども係長 今井 明彦

4. 傍聴者 3名

2月定例教育委員会次第

日 時 平成28年2月24日（水）午前10時00分から

場 所 市役所 7階 704会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育委員長報告

第2号 教育長報告

第3号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第4号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）市議会3月定例会一般質問について

（2）市議会3月定例会に提出される予定の議案等に対する意見について

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

（1）臨時教育委員会の開催について

（2）地区こども館の見直し及び学童クラブに入所できる児童の拡大について

（3）ファミリー・サポート・センター事業について

（4）茅野市子育て短期支援事業実施要綱の制定について

（5）児童生徒の健全育成に係る相互連絡に関する協定の締結について

次回定例教育委員会日程について

3月23日（水） 午前9時30分「8F大ホール」

事務局会議 3月11日（金） 午前9時00分「705会議室」

7 閉 会

吉田委員長

只今から、2月定例教育委員会を開催します。

本日は、小林智職務代理がインフルエンザにより欠席となります。定数を超過しており、職務代理者から全体の決議に同意するという了承も得ておりますので、2月定例教育委員会を開催とします。

まず、前月の1月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

本件は承認されました。なお、会議録の署名は委員会終了後にお願いします。

それでは報告事項第1号、教育委員長報告についてお願いします。

2日に茅野高フォーラムへ参加してきました。体育館での実践報告では自信を持って堂々とした発表をしてくださりました。内容は大槌高校との交流についての発表で、交流は3年くらい続いておりますが、内容も濃くなっております。いろんな体験を通して一人一人が成長していることを実感できました。またすべての授業が公開されていまして、授業を見させていただきました。共同の学びというようなこと、教師の一方的な授業ではないことを心がけて授業を行っておりました。しっかりとした形にはなっているとは思いますが、様々な工夫をしておられると感じました。私も7年ほど教員としてお世話になりましたが、その時教師が一方的に授業を進めていくという形でしたが、それを変えていこうという試みが非常に心強く思いました。ただ、今やっていること自体について言えばまだまだ改善点があると思いました。ただ一人ひとりの子どもを大切にしていこうという意識が多くの方の中に見られました。茅野市の小、中学校でやっていることが、同じ茅野市の高校でも行われており、スムーズな繋がりにもなっていくだろうし、そういう意味で茅野市の教育というものが一貫していくことが非常にありがたいと感じました。

その他につきましては資料の通りです。

次に報告事項第2号、教育長報告についてお願いします。

教育長

4日に豊かな学び会学習実践発表会が行われました。市内13校の校長先生方が4月から考えている教育理念は、茅野市が目指している教育理念ですが、その教育理念を学校という場で子どもたちの姿、教師の姿に具体的に表れるように教育、実践してきたという事が13校の報告にも如実に表れていて非常にありがたいことだと感じました。こういうことを1年間やりました。ということだけではなく、こういうことをやったら子どもたちがこういう風に、変化、成長しましたという、育ちの事実を報告してくれたことに非常に

感謝しております。

19日に幼保小連携教育まとめの会が行われました。毎年やってきましたが、ここでも、ただこういう事を1年間やりました。ということではなく、こういう事に力を入れて行ったらこういう風に子どもたちが変わりました。という事実を伝えてくれました。それと同時に、保育園の子どもたちの成長というのは、本当にすごいなと感じました。今小学校の1、2年で生活科という学習がありますが、ここでもって子どもたちに学ばさせている内容は、すでに保育園の年長時に学んでいるということです。保育園では学習とはいっておりませんが、遊び＝学びであるこの立場で、保育、教育をやっているという事に、幼保小連携教育の重要性を感じさせていただきました。

6日に「読み一む in ちの」15周年の集いが行われました。15年間茅野市の、読書活動、教育を「読み一む in ちの」の方々がリードしてきてくださりました。その中の具体的な事実として、出生時と4か月検診の時に絵本等をプレゼントして下さっており、あるお母さんが仰っていましたが、子どもに1日1回読んで聞かせていた。子どもが7か月になった時に「今日はママの誕生日だよ」と言ったら、その7か月の子どもがパチパチと手を叩いたそうです。この毎日読んでいた本は「お誕生日おめでとう」という絵本だったそうです。そういう風にいただいた本を親が毎日読み続けているという事実と読み続けてくださると子どもたちは内容をくみ取って、7か月でも心が育まれるという事実を伝えてくださったことに非常に心をうたれ、読書の重要性を改めて感じました。

15日に全中スケート大会の北部中学校女子優勝報告会が行われました。北部中学校のスケート部が市長の所に報告へきてくださりましたが、これも非常に嬉しいと思いました。茅野市の社会体育、学校教育、両方通じて、スケートをもって、こういう日本一という成果をあげてくださったということが大いにありがたい事であり、こういうところからオリンピック選手が輩出されるのだと感じました。

その他については資料の通りです。

吉田委員長

次に報告3号各課から報告をお願いします。

[各課から3月行事予定について報告]

資料（報告3号）

吉田委員長

次に報告事項第4号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告4号）

吉田委員長

次に議案１「市議会３月定例会一般質問について」両部長からお願いいたします。

こども部長

２８年３月定例会一般質問通告一覧表をご覧ください。

北沢千登勢議員から質問番号３番「子どもを健全に育む取組の推進について」学童クラブの利用拡大について、こどもを性被害から守る取り組み、ユネスコスクールへの加盟について、という質問をいただいております。

樋口敏之議員から質問番号４番「市内小中学校の情報通信環境とその活用について」小中一貫教育の現状、小中一貫教育における ICT の現状、という質問をいただいております。

両角昌英議員から質問番号５番「幼保小連携教育の取組状況について」幼稚園、保育園、小学校における温度差はないのか、現場の先生に戸惑いはないのか、子どもたちの様子はどうか、幼保小連携教育の課題について、という質問をいただいております。同じく両角議員から質問番号６番「小中一貫教育の取組状況について」小中一貫教育の進み具合はどうか、幼保小連携教育とのつながりはどうか、茅野市が目指す小中一貫教育の形はなにか、という質問をいただいております。

伊藤玲子議員から質問番号１２番「子どもの貧困対策と子育て施策について」茅野市の子供の実情背景と現状、市の施策の進捗状況、学校での貧困等の把握について、子どもの欠食について、要保護児童対策地域協議会について、という質問をいただいております。

長田近夫議員から質問番号１８番「学校給食費無料化について」茅野市の就学援助制度の内容と援助費の内訳について、学校給食費の現状について、学校給食費無料化について、という質問をいただいております。

伊藤正陽議員から質問番号２０番「１８歳選挙権と若者の投票率向上について」２０代、３０代の投票者と若い有権者の投票所へ足を運ばない理由をどう考えるか、投票率を上げるために行政と教育では何ができるか、という質問をいただいております。

こども部からは以上になります。

生涯学習部長

丸茂岳人議員から質問番号２１番「茅野市民プランについて」市民プランの第８章３節の３にある、資料の保存についての質問をいただいております。

生涯学習部からは以上になります。

吉田委員長

何かご質問等ございますか。

この議案については承知をしておくということによろしいですね。

次に議案２「市議会３月定例会に提出される予定の議案等に対する意見について」こど

も部長からお願いします。

こども部長

3月26日から定例会が行われますが、そこにこども部として提出する条例改正の議案が1件あります。内容は「茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例について」になります。理由としましては市内における放課後児童健全育成事業の基準のうち、対象者に関する基準を小学校第6学年までに拡大し、併せて、市が設置する学童クラブの対象者を小学校第6学年までに拡大するため、本条例を提案します。茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の第5条第1項中「第1学年から第3学年までの」を「に在学する」に改めます。また茅野市学童クラブ条例の第3条中「第1学年から第3学年まで（特別支援学級に在学する児童にあっては第6学年まで）の」を削るという内容になります。経過につきましては、その他2「地区こども館の見直し及び学童クラブに入所できる児童の拡大について」で詳しく説明させていただきます。

もう1点は報告事項になります。平成27年2月16日に起きた児童の事故の損害賠償の専決ということで、議会に報告をさせていただきます。

吉田委員長

何かご質問等ございますか。

この議案については承認とします。

次にその他1「臨時教育委員会の開催について」ということで学校教育課長お願いします。

学校教育課長

3月7日に臨時教育委員会が開催されることになります。内容については人事の関係になるかと思います。

吉田委員長

3月7日に臨時教育委員会が開かれるということで、委員の皆様方へご承知おきください。

次にその他2「地区こども館の見直し及び学童クラブに入所できる児童の拡大について」こども課長お願いいたします。

こども課長

以前にもこども館の見直しについての経過はご説明させていただきましたが、その後の経過と結果となります。昨年の4月にスタートしました子ども・子育て支援新制度によ

り、学童クラブに入所できる児童が小学校3年生から小学校6年生まで拡大されました。茅野市では、小学校4年以上の児童に対しては、こども・家庭応援計画「どんぐりプラン」で掲げた「たくましく・やさしい・夢のある子ども」を育む場所として位置づけられた「地区こども館を活用することにより、安全で安心な居場所が提供できる」という考えから、学童クラブに入所できる児童を小学3学年までとしました。しかし学童クラブの開所時間と地区こども館の開館時間の違い等もあるため、保護者の中から地区こども館の開館時間の延長や、学童クラブの対象児童の拡大の要望が出されてきました。このため、今年度地区こども館と学童クラブの役割や開館時間について見直しを検討することになりました。

地区こども館と学童クラブの概要については、地区こども館は市内10地区に設置され、図書館分室を併設した本のある屋付き公園と位置づけ、幼児・学童の居場所の提供と子育て・子育てを応援する拠点施設として利用されています。開館時間は、地区や季節によって一部異なりますが、基本は午前9時30分から午後5時までです。学童クラブは、昼間、保護者が家庭にいない児童に対して、生活指導を行うとともに、小学校3年までの児童を対象に健全育成を図るため、9小学校に13クラブを設置しています。開所時間は、通常期が下校時間から午後6時30分まで、夏休みなどの休業期が午前8時から午後6時30分までです。

次に地区こども館の時間延長等の見直し検討の経過と意見の集約結果についてです。市はどんぐりネットワーク茅野と協議し、地区こども館の開館時間を含めたあり方等について、各地区のこども館関係者との会議を開催してきました。平成27年11月6日に市内10地区のこども館関係者との会議を市役所内で開催し、その後、各地区においても11月から1月にかけて会議を開催し検討を深めました。1月26日には、各地区での話し合いの結果を持ち寄り、全地区の関係者による会議を開催し、地区こども館のあるべき姿についても検討しました。各地区の大方の意見は、どんぐりプランの理念からして、自分の足で家に帰るためにも地区こども館の開館時間は延長しない。学童クラブと地区こども館の設置目的が違うため、学童クラブへの要望は学童クラブで対応することがよい。現在、どんぐりプランの理解が広く市民に行き届いていない状況で、地区こども館について様々なご意見を伺うことは難しい。まずは、どんぐりプランをもっと広く知っていただくことが必要である等の意見が出されました。またさらなる地区こども館のあり方については、平成30年度からスタートする第3次こども・家庭応援計画を策定する中で、地域のみなさんと検討していくとの意見集約がされました。

学童クラブに入所できる児童の拡大については、検討会議で出された、自分の足で家に帰るためにも地区こども館の開館時間は延長しない。学童クラブと地区こども館は設置の目的が違う等の意見を参考に検討した結果、市は地区こども館の開館時間は変更せず、平成28年度から学童クラブに入所できる児童を6年生まで拡大して要望に対応することとしました。

以上のような経過になります。

吉田委員長

何か質問等ございませんか。

基本的にこのような形になるわけですね。

次にその他3「ファミリー・サポート・センター事業について」こども課長からお願いします。

こども課長

ファミリー・サポート・センター事業についてご説明いたします。子どもの一時預かりなどの援助を行いたい人（援助会員）と、援助を受けたい人（依頼会員）を登録し、その会員間による相互援助活動を行うことにより、安心して仕事及び子育てができる環境づくりを支援するため、茅野市ファミリー・サポート・センター事業を実施します。実施につきましては28年度から実施していく予定です。実際には準備、研修の期間がありますので、預かり等の事業ができるのが、夏ごろになるかと思います。実施につきましては社会福祉協議会に業務を委託する予定です。センターの主な業務内容につきましては、会員の募集、預かりたい方、預けたい方の調整になるかと思います。次にアドバイザーの業務ですが、このアドバイザーが社会福祉協議会の職員さんになるかと思います。主な業務内容はアドバイザーの主な業務内容が先に述べました業務内容となっております。次に相互援助活動の内容ですが、幼稚園保育園、学校、学童クラブ等への送迎とその前後の預かり、学校が休みの時や、保護者が病気の時、子どもが軽い病気（治りかけ）の時などの預かりとなっております。報酬に関する基準ですが、援助を依頼した会員が援助していただいた会員に直接現金で支払うこととなっております。金額につきましては平日が800円、早朝、夜間、休日が900円、軽度の病気の場合1000円となっております。現在、社会福祉協議会の方でほっとサービスの中で、800円で子育て支援を行っており、他市町村の状況なども参考にしまして金額を800円としております。交通費につきましては、バス代、タクシー代につきましては実費、自家用車1km20円という設定をさせていただいております。キャンセル料はキャンセルした利用開始予定時間から1時間の報酬に相当する金額になります。受付時間は月曜日から金曜日8時30分から17時30分となっております。補償などについては、保険に加入していただきます。掛け金については、センターで負担となっております。援助活動の流れについては下記の図を参照してください。

吉田委員長

似たような事業は昔もありましたよね。

こども課長

社会福祉協議会のほっとサービスの中で家庭支援があり、その中の一つとして子育て支

援があり、子どもの預かりという内容の業務があります。預かる方がなかなか確保できないというようなことがあり、十分な需要に対応できなかったということがあります。今回は委託料等の中で人件費に対応していただきまして、協力できる方もできるだけ多くして、対応していくようになっております。現在、市では広報ちのや各施設で周知を行い、会員の募集を行っております。

吉田委員長

なにかご質問等ございますか。

具体的な動きがより家庭のサポートに繋がるようにいろんな面での配慮をお願いします。

次に「茅野市子育て短期支援事業実施要綱の制定について」こども課長からお願いします。

こども課長

保護者による養育が一時的に困難になった児童を児童養護施設にご案内するというような実施要綱です。一時的に入所していただき、当該児童の福祉の向上とその家庭における子育てを支援することを目的としております。実施につきましては28年度からとなっております。事業の種類となりますが、短期入所生活援助事業となっており、宿泊が、最低1泊2日となり、泊まりの形で行う事業となっております。対象の児童につきましては、1歳以上16歳未満の児童で、保護者が出産、介護などを理由に養育が一時的に困難になったものとします。利用期間は1回につき6泊7日が限度となっております。ただし実情から期間を延長することもできます。施設につきましては、諏訪地方では、つつじが丘学園へ市が委託をしまして、進めていきます。利用にあたっては、茅野市子育て短期支援事業利用申請書を提出していただき、市の方で決定するという内容となっております。利用料につきましては、生活保護者世帯、当該年度分の市町村民税非課税世帯（ひとり親の世帯）については負担なし、当該年度分の市町村民税非課税世帯（ひとり親の世帯を除く）、当該年度分の市町村民課税世帯（ひとり親の世帯及び養育者の世帯）については2歳未満が2,675円、2歳以上が1,375円になります。それ以外の世帯につきましては、2歳未満が5,350円、2歳以上が2,750円となります。現在利用の要望があるかについては、他市町村では1件あるかないか程度で、茅野市では数件の要望がありましたので数件を想定しております。

吉田委員長

この要綱については、そんなに利用する件数が多くないという理解でよろしいですか。

こども課長

本年度も数件ありまして、そういった要望がいくつかあるなかで、実施していくという

ことになります。

吉田委員長

具体的に本当に必要な時に使えるような体制にしていただけるようお願いします。

次に「児童生徒の健全育成に係る相互連絡に関する協定の締結について」学校教育課長からお願いいたします。

学校教育課長

2月9日に茅野警察署にて、茅野市教育委員会、富士見町教育委員会及び原村教育委員会との児童生徒の健全育成に係る相互連絡に関する協定ということで、締結させていただきました。目的ですが、児童生徒の安全を脅かす犯罪や事故等が多発するなかで、少年の非行問題が広域化、多様化、深刻化してきている現状を踏まえ、茅野市・富士見町・原村における市町村立学校の児童生徒の安全の確保と非行の防止を図るとともに、豊かな感性や情操、思いやりの心などを育み児童生徒の健全育成を推進するため、相互の連携に関するということです。内容については、「連携機関は、一時的な情報交換により連携はもとより、児童生徒の安全を確保するために必要かつ具体的な情報及び個々の問題行動に着目した具体的な情報を相互に連絡することにより、実質的な連携を図るものとする。」これについては個人情報という問題がありますので、警察側からするとなぜ教育委員会へ教えたのか、教育委員会からなぜ教えてくれないのか、という問題がありまして、その問題を解決するために、この協定が結ばれました。第5条に具体的な対象事案が書かれておりまして、安全確保のための相互連絡の対象事案、警察署から学校への連絡対象事案、学校から警察署への連絡対象事案です。具体的な内容については、不審者の報告や児童、生徒の安全確保、児童、生徒の非行行為などになります。こういった内容を教育委員会と茅野警察署で共有できるようになるかと思います。

吉田委員長

小中の具体的なことに関してよく知りませんでした。学警連携という形での連絡というのは今までもあったわけですね。

学校教育課

今までもありましたが、それをより確かなものにするという協定です。

こども部長

昨年文科省から通知が届きまして、今年度中に取り組む事項として、この協定がありました。8月に県教委が率先して行い、協定を結びまして、そんな状況の中で各警察署が協定を結びました。

吉田委員長

この協定によって、場合によっては、必要になる学校からの情報提供、警察からの情報提供がきちんとした契約の元に法的根拠を持って行えるということですね。

こども部長

はい。取り組むべき事項として、この協定があったため、協定を結んだことをご理解ください。

吉田委員長

学校と警察との連携をやるにあたり、抵抗も大きいということを、つぶさに見ることもありましたが、そういうところで協定が結ばれたということによろしいですね。

次回定例教育委員会ですが、3月23日水曜日午前9時30分から、事前を午前9時から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

吉田委員長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で2月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 28 年 3 月 23 日

茅野市教育委員会 委 員 長

委 員

委 員

教 育 長

こ ども 部 長